

公益財団法人 損保ジャパン日本興亜福祉財団様

NPO 基盤強化資金助成事業

事業実施報告書

事業テーマ：

『リカバリーカレッジを川崎で開催し、

精神障害者の生活サポートを行う』

実施者（報告作成者）：

特定非営利活動法人レジスト

事業実施報告書

平成30年4月1日 作成

1. 内容

2011年時点の国内精神疾患患者数は320.1万人で、がん、脳卒中などよりも多い状況となっており、国は「精神保健医療福祉の改革ビジョン」を策定し、「入院医療中心から地域生活中心へ」という方策を進めてきています。

そうした取り組みもあって平均入院期間は少しずつ短縮し、精神障害のある方が地域で暮らし始めてはいますが、地域生活を支える体制は十分整っているとはいえず、社会資源の整備や人材育成への取り組みは急務といえます。

そんな中、イギリスではリカバリーカレッジという取り組みが精神障害のある方の地域生活実現に大きな成果を上げています。リカバリーカレッジとは、精神障害のある方それぞれが、自分が求める生き方を主体的に追求する（＝リカバリー）ために必要なことを、障害当事者、支援者、医療関係者等が対等な立場でともに学ぶ実践であり、支援者主導によって提供されてきた従来の障害福祉サービスとは大きく異なります。

レジストが精神障害のある当事者の方たちと積み上げてきた実践を生かしたりカバリーカレッジ事業を実施することで、本人を中心とした地域生活を支える体制の構築を目指します。

2. カレッジ開催数

全7回（詳細イベントチラシ参照）

3. 受講者数

約68名（全7回の合計）

4. 報告書掲載場所

当法人ホームページ 法人概要ページに掲載

※印刷による配布は最低限のみしか行わず、基本的にはホームページに掲載し、ダウンロードしていただく形となった。

5. 事業実施後の効果

- レジストには現在5名の精神障害当事者のスタッフ（ピアスタッフ）が在籍していますが、カレッジの開催に携わり、運営に参加することで、リカバリーカレッジを通してスタッフが自身のリカバリーについて学びを深めることにより、さらなる支援の向上が期待できた。
- リカバリーカレッジが、地域で暮らす精神障害のある方の新たな所属の場所であり、「リカバリーの実現にとって真に必要なことは何か」を理解する支え手を生み出す学びの場としての役割を担うことで、精神障害のある方の地域生活を支える社会資源や人材の不足といった課題の解決に資するものとなった。
受講者こそ68名ではあるが、開催の案内、様子はホームページ Facebook 等のSNSにて発信を行っていたため、広く広報活動を行えたものと考えている。
- 受講者の約80%が、初めて参加する方であった。これは、新たなつながりが増えていくことに加え、我々の活動を知っていただくことで、精神障害者の地域生活等での置かれた現状などを広く知っていただくきっかけになった。

6. 助成事業を終えて～これからの展望

- ・実践を報告書として作成し、web や実践報告会で広く発信することで、本事業の効果を各地に波及させることができた
- ・併せて、次年度以降の当団体のリカバリーカレッジ事業（類似する講座、研修や普及啓発に関するイベント等）の継続に向け、
 - ①共感する方にマンスリーサポーターとして資金的な協力を募る
 - ②医療機関や精神障害福祉に理解のある企業へ協賛を募る
 - ③支援者・支援機関向け出張講座等を開催するなどにより活動に必要な資金を集め、さらなる参加者の拡大を図っていきます。

※現に、川崎市から委託事業をいただくことができ、研修・講座活動を継続することができている。

7. その他

以下、実施チラシ等により実施報告とする

ゆったり語る 精神障がい ピアサポートグループ

第1回

ピアミーティング in レジネス

「同じ障がい(疾患)の苦勞を話せる仲間がいれば」
「休日など気軽に話せる場があったらな」

日頃思っているあんなこと、あまり周りに話せていないこんなこと、
長らくピアグループ運営、執筆活動や幅広い活動を行っている加藤さんと共に
ゆったり話れる会を開催しています。毎回テーマミーティングを行っています。

お気軽にご参加お待ちしております！

※どんな立場の方も、フラットにご参加いただけるオープンな会です
※テーマミーティングですので、初めての方も安心してご参加頂けます

10/21
(土)

テーマ：『 **改めて、リカバリー とは？** 』
～それぞれのリカバリー語りましょう～

13:30～16:00

レジネス作業室 (就労継続B型事業所)


～川崎市中原区木月 3-59-22 (東急東横線 元住吉駅徒歩 10分～

参加費 500円 (飲み物・お菓子・資料代)

対象 関心のある方はどなたでも

申込 「①ピア参加・②氏名・②連絡先」記入の上メール・FAXお願いします

< ① : resines@resistnpo.com >

< Fax : 044-948-8443 > (詳細 HP  レジネス)

1975年生まれ。横浜市在住。

うつ病、統合失調症という診断を経て、双極性障がいと診断されるまでに13年を要した。その後、自身の障がいを受け入れてリカバリーの道歩んでいる。現在はピアサポートグループ在(ざい)(<http://zai-psg.jimdo.com>)の運営をはじめ、積極的にピアサポート活動に取り組む。

加藤伸輔氏プロフィール

アシスタント: **加藤 伸輔氏**
(ピアサポートグループ在・
(株)アンフィニテ)



↓ FAXの方は返信用紙としてお使いください！(FAX: 044-948-8443)

氏名(ニックネーム可): _____

連絡先(電話、メールなど): _____

主催: NPO法人レジスト レジネス/Socialworkshop Bremen st. Tel: 044-948-8443

※この事業は、公益財団法人損保ジャパン日本興亜財団『NPO基盤強化資金助成』事業で行われます。

第2回 学び合う元住吉校

『当事者研究カレッジ in 川崎』

～みんなと、自分と、生良さんと対話してみよう～



11/5
(日)

精神疾患などを抱え、生きづらさと共に歩んだ北海道浦河町のご存知、浦河べてるの家より生良さんをお招きし、当事者研究などをテーマに、近況や時代の流れなどご報告頂きながら、学び、語れる場にできればと思っています。

12:00～14:00

レジネス作業室 (就労継続B型事業所)

対象 関心のある方はどなたでも
(1講座のみでも参加できます)

定員 25名 (申込先着順)

参加費 2000円

申込 「①氏名・②連絡先」

記入の上メール・FAXでお申込下さい

<Mail: resines@resistnpo.com>

<Fax: 044-948-8443 >



講師：向谷地 生良氏
(北海道医療大学 教授・
浦河べてるの家)

学び合う元住吉校とは？～イギリス、リカバリーカレッジの取り組みを川崎でもという取り組みです

イギリスでは、国民のメンタルヘルス（精神的な健康）の向上をはかる取り組みとして、地域で豊かに暮らしていくために必要となる知識を互いに学びあえる場として街ごとに設置しています。豊かに街で暮らしていくために共に学びあえる場所がリカバリーカレッジです。(リカバリーカレッジたちかわさんのホームページより)